



豊橋美術博友の会が総会 マンガ文化の記念講演も

今年度事業6つの柱

豊橋美術博友の会(宮田正人会長)の今年度総会が28日、同館講義室で開かれた。冒頭、宮田会長があいさつし、収蔵庫や常設展示室の整備、レストランの誕生など、今秋に完了

日本のマンガ文化について語る伊藤さん
豊橋市美術博物館
同館職員を代表して、毛利伊知郎館長は「今後もおもしろい展示会を計画している。友の会の皆さんが核となり、美術、歴史、文化を広めていってほしい」と述べ、協力に感謝した。

総会後は記念講演会を開催。同館で開催中の「描くーマンガ展」に携わった豊橋出身の伊藤遊さん(京都精華大学国際マンガ研究センター研究員)を講師に、「日本のマンガ文化はなぜスゴいのか?」の題で、多方面から分析したマンガのスゴさについて聞いた。(田中博子)

今後も展示内容に期待

「豊橋市美術博物館友の会」総会で宮田会長



芸術に関心があり、豊橋市美術博物館(豊橋市今橋町)に協力する市民らで構成される「豊橋市美術博物館友の会」の本年度総会は28日、同館講義室で開かれた。あいさつに立った宮田正人会長は、同館に最先端の機能を備えた収蔵庫が完成し、11月の使用に向

あいつする宮田会長(豊橋市今橋町の同市美術博物館で) けて整備が進められていることや同月、常設展示場およびレストランも合わせて新設されることについて「常設展には、豊橋の郷土作家の作品が並ぶのでは。これまで以上にいろいろな企画展を実施してほしい」などと、期待を寄せた。

同館職員を代表して、毛利伊知郎館長は「今後もおもしろい展示会を計画している。友の会の皆さんが核となり、美術、歴史、文化を広めていってほしい」と述べ、協力に感謝した。総会後には、現在同館で開催中の「描くーマンガ展」にちなんだ記念講演会「日本のマンガ文化はなぜスゴいのか?」があり、京都精華大学国際マンガ研究センターの伊藤遊研究員が講義した。(三浦ゆかり)

描展「放浪の天才画家 山下清展」といった美術展の観賞をはじめ、二川宿本陣資料館見学、講演会等の開催、会報発行など6つの柱を打ち出した。